

令和7年度 事業報告書

自 令和 7年4月 1日

至 令和 8年3月31日

(令和8年5月27日)

学校法人 静岡自動車学園

令和7年度事業報告

自 令和 7年 4月 1日
至 令和 8年 3月 31日

1. 法人の概要（令和8年3月31日現在）

学校法人静岡自動車学園は、県内自動車業界の先駆者によって昭和15年に静岡県自動車学校を開校、また昭和31年には自動車整備士育成のための各種学校を設立し、現在の専門学校静岡工科自動車大学校と専門学校浜松工科自動車大学校に受け継がれて、これまでに時代の変遷を経て安全運転者の養成と「技術者の育成をもって地域社会に貢献する」という建学理念の実践の場として即戦力となりえる中堅技術者の育成を行ってまいりました。

創立86年目を迎える学園の歴史にあつて法人分割等幾多の経営課題を乗り越えて今日に至っておりますが、時代の背景としてはモータリゼーションの進展に支えられ全国的にも特色のある教育機関として、地域社会に寄与してきました。

現在において本学園は、少子化、顧客ニーズの多様化等これまでに経験したことがない経営環境の中で、職員全員が次代に向けて掲げる中期経営計画（3ヵ年計画）を具体化し、価値観を共有して、新たな学園の存立基盤を形作っていく時代を迎えています。

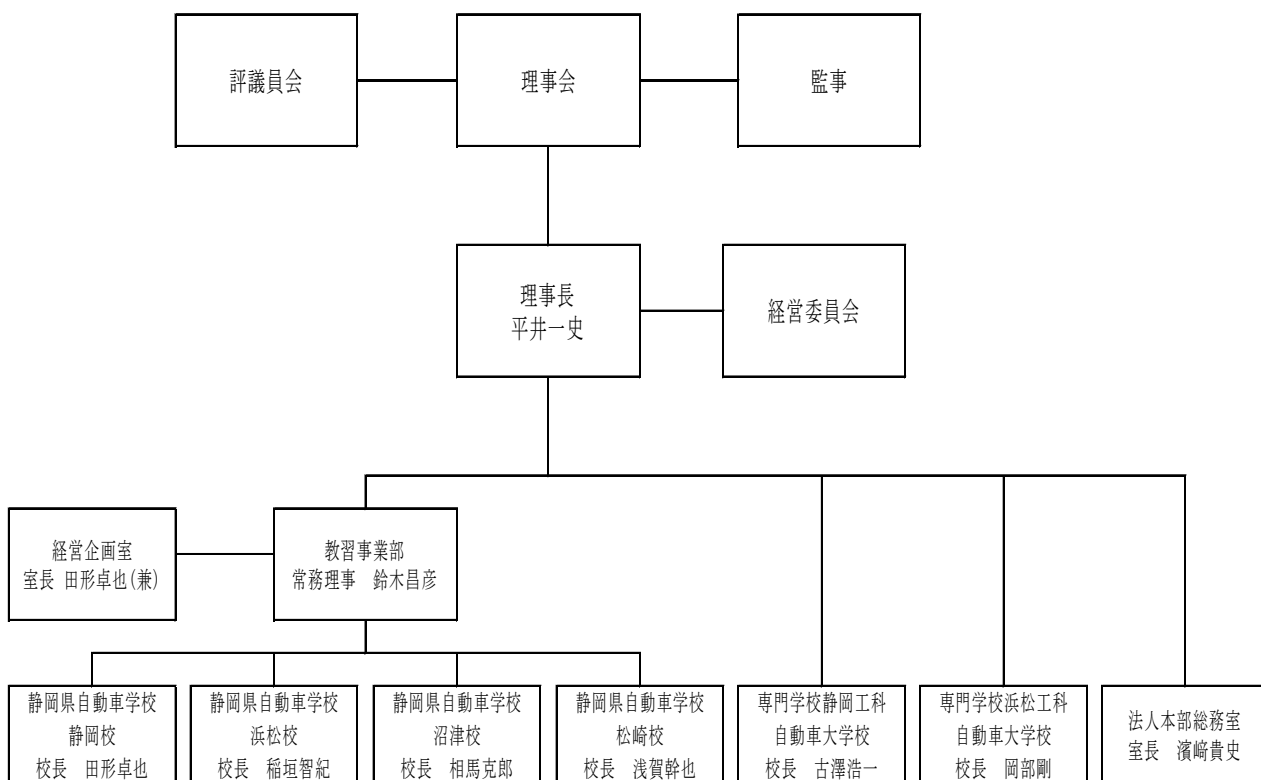
学校法人静岡自動車学園は、これまでに培ってきた優れた教育サービスの提供を通じて人に優しい交通社会の実現に貢献してまいります。

（1）沿革

昭和15年	5月31日	静岡県自動車学校設立が静岡県知事より認可される
昭和15年	7月 1日	静岡県自動車学校開校
昭和27年	3月31日	学校法人静岡自動車学校寄附行為が静岡県知事より認可される
昭和31年	4月 1日	静岡県自動車学校に整備科を開校する（現「専門学校静岡工科自動車大学校」）
昭和35年	12月20日	静岡県自動車学校、同浜松校、同沼津校が指定自動車教習所として静岡県公安委員会指定を受ける
昭和37年	12月13日	法人名を学校法人静岡自動車学園に改める
昭和38年	4月 1日	静岡県自動車工業高等学校開校
昭和45年	7月 4日	寄附行為一部改正により自動車学校は収益事業に、整備教育部に属する各科は静岡産業技術専門学校に改める
昭和47年	7月 6日	静岡県自動車学校松崎校が指定自動車教習所として静岡県公安委員会指定を受ける
昭和52年	6月 3日	学校法人金指学園（星陵高等学校）との合併が静岡県知事より認可される
昭和55年	4月 1日	静岡県自動車工業高等学校を静岡北高等学校に名称変更
昭和58年	4月 1日	沼津情報専門学校開校
昭和59年	9月 1日	学校法人杉山学園（静岡文化専門学校）との合併が静岡県知事より認可される
昭和60年	4月 1日	浜松情報専門学校開校
平成 2年	7月16日	学校法人静岡自動車学園設立、及び静岡工科専門学校設置が静岡県知事より認可される （法人分割）
平成 3年	4月 1日	静岡工科専門学校開校

平成 7 年 4 月 4 日 静岡工科専門学校実習棟竣工
 平成13年 1月18日 静岡県自動車学校校舎竣工
 平成16年 9月28日 静岡工科専門学校が中国浙江省の嘉興職業技術学院と姉妹校提携締結
 平成17年 4月 1日 静岡工科専門学校を専門学校静岡工科自動車大学校に名称変更（静岡県知事届出、平成17年3月25日寄附行為変更認可）
 平成19年11月29日 静岡県自動車学校浜松校校舎竣工
 令和 5年 3月28日 専門学校浜松工科自動車大学校の新設が県知事より認可される
 令和 5年 4月 1日 専門学校浜松工科自動車大学校開校

(2) 組織図 (令和8年3月31日現在)



(3) 役員等の概要 (令和8年3月31日現在)

役名	氏名	常勤・非常勤の別	就任年月
理事長	平井一史	常勤	令和2年6月理事長就任
常務理事	鈴木昌彦	常勤	平成28年11月理事就任
理事	渡辺芳郎	非常勤	平成20年6月理事就任
理事	守屋彦太	非常勤	令和6年6月理事就任
理事	古屋勝治	非常勤	令和7年6月理事就任
理事	古澤浩一	常勤	令和5年4月理事就任

理事	田形卓也	常勤	令和7年6月理事就任
監事	日下部育男	非常勤	平成31年3月監事就任
監事	川口隆司	非常勤	令和4年6月監事就任
評議員	北島克己	非常勤	平成28年6月評議員就任
評議員	田中雅子	非常勤	令和6年6月評議員就任
評議員	岡野津代志	非常勤	令和7年6月評議員就任
評議員	萩原真治	非常勤	令和7年6月評議員就任
評議員	山本康弘	非常勤	令和7年6月評議員就任
評議員	白井五朗	非常勤	令和7年6月評議員就任
評議員	岡部剛	常勤	令和5年4月評議員就任
評議員	濱崎貴史	常勤	平成28年6月評議員就任

(4) 設置する学校・学科等（令和7年5月1日現在）

専門学校静岡工科自動車大学校（静岡市葵区宮前町52番地の1）

課程名	学科名	昼夜別	修業年限	学則定員
専門課程 (工業分野)	自動車システム工学科	昼	4年	160名
	自動車整備科	昼	2年	120名
	国際オートメカニック科	昼	3年	240名
	ボディエンジニア専攻科	昼	1年	20名
	開発エンジニア専攻科	昼	2年	30名

専門学校浜松工科自動車大学校（浜松市中央区寺島町285番地の24）

課程名	学科名	昼夜別	修業年限	学則定員
専門課程 (工業分野)	自動車システム工学科	昼	4年	160名
	自動車整備科	昼	2年	50名
	国際オートメカニック科	昼	3年	75名

(5) 収益事業の名称及び住所

静岡県自動車学校静岡校	静岡市葵区宮前町71番地の1
静岡県自動車学校浜松校	浜松市中央区和地山2丁目38番1号
静岡県自動車学校沼津校	沼津市東椎路419番地の1
静岡県自動車学校松崎校	賀茂郡松崎町岩科南側17番地

(6) 静岡工科自動車大学校在籍者数推移（令和7年5月1日現在）

学 科 名	修業 年限	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
自動車システム工学科	4年	288	299	257	247	185
自動車整備科	2年	102	104	86	69	107
国際オートメカニク科	3年	170	167	122	143	195
ボディエンジニア専攻科	1年	—	—	16	12	17
開発エンジニア専攻科	2年	—	—	—	—	4
合 計		560	570	481	471	508
学則定員		580	540	570	590	570

浜松工科自動車大学校在籍者数推移（令和7年5月1日現在）

学 科 名	修業 年限	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
自動車システム工学科	4年	—	—	23	49	74
自動車整備科	2年	—	—	24	44	43
国際オートメカニク科	3年	—	—	17	48	73
合 計		—	—	64	141	190
学則定員		—	—	225	285	285

(7) 職員の状況

① 職員の異動 (令和7年4月1日より令和8年3月31日まで)

(単位:人)

区 分	性別	人 員	区 分	性別	人 員
期 首	男	166 (12)	期中退職	男	7 (4)
	女	52 (2)		女	5 (1)
	計	218 (14)		計	12 (5)
期中採用	男	17 (12)	期 末	男	176 (15)
	女	6 (1)		女	53 (2)
	計	23 (13)		計	229 (17)

(注) 表中の () 書は嘱託の内数を示します。

② 職員の構成 (令和8年3月31日現在)

性別	人 員 (人)	平均年齢 (歳)
男	176 (15)	44.6
女	53 (2)	39.8
計	229 (17)	43.5

(注) 表中の () 書は嘱託の内数を示します。

2. 事業の概要

今日の学園を取り巻く経営環境は、18歳人口の減少が深刻化する中、経営基盤や事業構造の再構築という課題が生き残りのための必須条件となっている。

静岡・浜松工科自動車大学校両校では、令和7年度を初年度とする第11次中期経営計画において、職業実践専門課程の特性をさらに深化し、「社会のニーズにマッチした高いレベルの専門教育と人間性の育成」を教育理念に掲げ事業展開を行っている。

(1) 事業ビジョン

- ① 学生や父母等が「成長」を感じるとともに、「感動」を与え、全ての関係者（業界、企業、高校、地域）から喜ばれるような、質の高い教育サービスを提供する。
- ② 様々な手法により学校教育活動及びその教育成果を地域社会へ周知し、学校の認知度を高めるとともに、安定した募集活動を展開する。
- ③ 経費、労務管理等においては、健全で効率的な学校経営を行う。
- ④ 将来の発展に向け、グローバルな視野と柔軟な発想により様々な可能性を模索し、時代の要請に合った新しい教育サービスを提供する。

(2) 事業目標

① 教育の質の向上

- ・ 専門知識、技術及び社会人教育においては、「何を教えた」のではなく、「何ができる（わかる）ようになる」を実践し、創意工夫による質の高い教育を展開する。
- ・ 産学連携を推進し業界ニーズに合った教育環境（教育カリキュラム、教材、機器、施設設備）を構築する。
- ・ 研修、授業研究、FD推進などにより、教職員のスキル（知識、技術、指導力）向上に努める。
- ・ 資格取得率及び就職率の他、様々な教育活動において高い教育成果を達成する。

② 戦略的な募集活動の推進

- ・ PDCAのマネジメントサイクルにより常に募集活動を見直し、入学定員を確保する。
- ・ 静岡工科は新規市場を開拓し、新たな入学ルートを構築する。
- ・ 企業奨学制度、高専一貫教育、高校や日本語学校との連携など、生徒や父母等、高校、企業が共に喜ぶ活動を推進し、安定した募集活動を展開する。
- ・ 特色のある学校教育活動を広く周知し認知度の向上を図るとともに、「選ばれる学校ブランド」を確立する。

③ 学校経営の健全化を推進

- ・ PDCAのマネジメントサイクルの確実な実行により「ムリ、ムラ、ムダ」を取り除いた効率的かつ生産的な学校経営を行う。
- ・ 学校業務を体系的に整理し、システム化、マニュアル化を推進することにより、業務の効率化を図る。
- ・ 静岡工科は職場環境を点検、改善することで離職者を出さない学校にする。

④ 新しい教育サービスの企画・立案

- ・ 「いつでも」、「どこでも」、「誰にでも」提供することができ、また地域に根ざした新たな教育サービスの企画・開発を行う。
- ・ 静岡工科は生涯教育やリカレント教育など、現在の経営資源を活用した講座の開設について検討する。

令和7年度は両校ともに入学募集定員を充足する結果となった。開校4年目を迎え令和8年度が完成年度となる浜松工科の期首在籍数は251名、静岡工科は昨年度より49名増加の557名で令和8年度を迎えた。静岡工科で実施している「ディーラーメカニックによる実習授業」は、教育成果のみならず募集活動においても大きな効果を上げている。令和8年度からは浜松工科においても同様の取り組みを進めるため5社との講師契約締結にこぎつけた。今期卒業生は、二級整備士資格および一級整備士資格で若干の不合格者は出たが、全体として質の高い教育は維持できていると考える。また、AIプロジェクトを立ち上げ議事録作成などの定型業務の省力化にも一定の成果を上げている。令和8年度はこれらの取り組みをさらに発展させ、さまざまな手法を活用しながら、業務改善を一層推進していく。

(1) 理事会・評議員会等の開催状況

開催日及び場所	主 要 議 題
令和7年4月1日 法人本部総務室4階会議室 理 事 会	1. 令和7年度評議員会の開催日時等について
令和7年5月19日 法人本部総務室4階会議室 監 事 監 査	1. 令和6年度決算監査
令和7年5月27日 グランディエールブケトーカイ 理事会・評議員会	1. 令和6年度事業報告について 2. 令和6年度決算報告について
令和7年6月3日 グランディエールブケトーカイ 評 議 員 会	1. 役員等（理事・監事・評議員）の改選について その他当面の問題について
令和7年6月3日 グランディエールブケトーカイ 理 事 会	1. 理事長および業務執行理事の選定について その他当面の問題について
令和7年7月16日 法人本部総務室4階会議室 理 事 会	1. 理事退任に伴う退職慰労金の贈呈について
令和7年10月24日 グランディエールブケトーカイ 理事会・評議員会	1. 令和7年度補正事業計画について 2. 令和7年度補正予算について
令和7年12月17日 三笑亭本店会議室 理 事 会	1. 学園の近況について 2. 学園資産の委託運用状況について その他当面の問題について
令和8年2月20日 グランディエールブケトーカイ 理事会・評議員会	1. 令和8年2月20日開催評議員会の議案追加について 2. 令和7年度補正事業計画について 3. 令和7年度補正予算について 4. 令和8年度事業計画について 5. 令和8年度当初予算について 6. 専門学校静岡工科自動車大学校学則の一部変更について 7. 専門学校浜松工科自動車大学校学則の一部変更について 8. 役員賠償責任保険の加入について 9. 専門学校浜松工科自動車大学校校長の交代について 10. 評議員の選任について（評議員会のみ） その他当面の問題について

また、理事会・評議員会の他に、経営委員会を年12回（月1回）開催し、学園の経営方針及び運営基準等について協議している。

(2) 事業計画に係る設備投資等の状況

令和7年度の設備投資等の額は、静岡工科自動車大学校では24,847千円、浜松工科自動車大学校では11,425千円であります。

【静岡工科自動車大学校】

(金額単位：円)

No.	事業名	品名	数量	金額	取得日
静岡工科1	教育設備整備事業	教室用プロジェクタ 5台	5	1,090,100	9/12
		B・C棟コンプレッサ	2	4,987,620	8/20
		計		6,077,720	
静岡工科2	教育教材整備事業①	新技術車両	1	0	8/29
		B科修復教材車両	1	1,181,000	7/31
		部品用整理棚	32	490,970	9/2
		自動車工学デジタル教材更新料	3	154,000	
		計		1,825,970	
静岡工科3	教育教材整備事業②	職員用パソコン	6	805,200	4/29
		実習用TVモニター/スタンド	6	735,900	6/25
		整備マニュアル閲覧用タブレットPC	10	569,800	5/7
		オートマチック・トランスミッション	6	396,000	8/4
		教材用C V T	6	330,000	8/4
		計		2,836,900	
静岡工科4	教育教材整備事業③	コムス・バッテリー 1台分	1	184,800	8/13
		原動機付自転車 6台	6	415,800	9/5
		低床ジャッキ 1台	1	114,400	
		計		715,000	
静岡工科5	教育環境整備事業	B棟雨漏り修繕工事	一式	1,287,000	5/7
		B棟実習場エアコン更新	一式	2,530,000	11/28
		計		3,817,000	
静岡工科6	他所属共同事業	電話交換機差替え	一式	1,075,710	9/4
		食堂LED化工事	一式	1,239,864	5/19
		計		2,315,574	
静岡工科7	教育設備整備事業②	教職員用椅子 38脚	38	808,500	7/10
静岡工科8	教育教材整備事業④	ミグ溶接機 1台	1	313,500	9/26
		エアリアル交換一式	一式	746,240	11/4
		計		1,059,740	
静岡工科9	教育環境整備事業②	C棟外階段修繕工事 一式	一式	2,497,000	8/1
		カウンセリングルーム改修工事 一式	一式	374,000	6/16
		計		2,871,000	
静岡工科10	学科オンライン配信体制構築	インフラ整備 一式	一式	1,487,200	3/23
静岡工科11	教育設備整備事業③	デスクトップPC 2台	2	455,400	2/13
静岡工科12	教育環境整備事業③	LED化工事 一式	一式	577,500	2/20
静岡工科合計				24,847,504	

【浜松工科自動車大学校】

No.	事業名	品名	数量	金額	取得日
浜松工科1	教育設備整備事業	学生貸出用工具	39	2,089,230	4/10
		エアコンシミュレータ	一式	2,673,000	8/21
		学生用下駄箱	3	344,300	4/3
		職員用パソコン 4台	4	1,056,000	4/21
		計		6,162,530	
浜松工科2	施設管理備品整備事業	キャビネット（入試・進路課）	2	225,940	4/21
		備品収納棚（事務室）	2	269,500	4/21
		計		495,440	
浜松工科3	施設整備事業	駐輪場増設工事	一式	3,960,000	5/27
浜松工科4	教育設備整備事業②	スキャンツール 3台	3	593,340	9/26
浜松工科5	教育設備整備事業③	高感度可燃性ガス探知機	1	214,500	2/27
浜松工科合計				11,425,810	

（3）設備、投下資本の状況

令和8年3月31日現在における設備、投下資本は次のとおりであります。

【静岡工科自動車大学校・浜松工科自動車大学校】

事業所名	土地		建物		構築物 (円)	教育研究用機 器備品 (円)	その他の 機器備品 (円)	車両 (円)	投下資本合計 (円)
	面積(㎡)	金額(円)	面積(㎡)	金額(円)					
静岡工科	9,662.26	525,737,967	9,508.15	412,363,349	1,284,962	87,206,861	2,944,535	4,952,631	1,034,490,305
浜松工科	2,644.00	240,139,508	2,502.68	754,087,455	58,708,516	59,563,064	2,657,759	840,001	1,115,996,303

（注1）投下資本は有形固定資産の帳簿価格で示し、図書は含んでおりません。

（4）経営状況分析等

①経営状況の分析

本業の状況を表す教育活動収支では、令和7年度の学生数は静岡、浜松合計で698名であり、学生生徒等納付金収入は6億9千万円となっている。教育活動収支差額は、静岡が96百万円、浜松が▲10百万円で、在籍者数の増加によって、静岡と浜松ともに増加となっている。教育活動外収支は、これまで同様に有価証券等の受け取り利息と収益事業からの寄附金であるが、収益事業からの寄附金については昨年度比で5千万円減少した。特別収支で、収入は静岡浜松両校における現物寄付と補助金、支出は施設の処分損である。これらの結果、基本金組入前当年度収支差額は2億4千2百万円を計上し、昨年度比で2千9百万円減少した。

②経営上の成果と課題

主要なターゲットである18歳人口が減少するなか、さまざまな取り組みにより入学募集定員は確保できている。しかし、専門学校における学生獲得競争は年々厳しさを増しており、留学生についても全国的な競争環境となっている。そのため、新たな募集方法の構築や、分かりやすい独自性の発信がこれまで以上に重要となっている。一方で一級自動車整備士をはじめとする自動車整備士の

社会的ニーズは依然として非常に高い。当学園における就職内定率はほぼ100%を継続しており、就職先企業からの人的・物的支援は、他に類を見ない大きな強みである。募集活動においては、主要ターゲット層にとどまらず、一級自動車整備士試験対策動画サービスなどを通じて、新たな層の獲得にも成功している。しかし、新たな整備士資格制度が始まろうとするなかで、従来の一級試験対策用動画については、内容を修正したうえで販売を継続するかどうか検討が必要である。また、令和8年度から本格的に動き出すリモート学科授業も重要な取り組みである。教員人材の不足が課題となる両校において、リモート学科授業の整備と活用は急務であり、教育の質を維持しながら効率的な授業運営を実現するための重要な手段となる。最も重要なことは、質の高い教育を継続することである。在校生および卒業生の満足度を高めることが社会への還元につながり、結果として学生が集まる学校であり続けるための基盤になると認識している。

③今後の方針・対応策

第11次中期経営計画に掲げる教育の質の向上、戦略的な募集活動の推進、新しい教育サービスの企画立案に取り組む。これらを推進するためには、まずこれまでに培ってきた当学園の強みが何であるかを今一度精査し、さまざまな機会においてその強みを最大限に生かす必要がある。また、機会に敏感に反応し、好機を逃さない組織体制を構築することが重要である。一方で、弱みを顕在化させないためには、その弱みを正しく認識し、改善に向けて主体的に取り組む必要がある。自らの組織だけで解決することが困難な場合には、他企業や外部機関との連携も視野に入れ、課題の解消を図ることが求められる。自らの組織をよく知り、客観的な視点を持つ組織となることで、第11次中期経営計画に掲げる各活動を効果的に推進していく。

3. 財務の概要（過去5年間の状況）

（1）貸借対照表

（単位：千円）

	3年度末	4年度末	5年度末	6年度末	7年度末
固定資産	10,005,832	10,586,122	9,744,026	9,863,132	10,061,778
流動資産	572,778	502,836	1,565,182	1,738,167	1,796,761
資産の部合計	10,578,610	11,088,959	11,309,209	11,601,300	11,858,540
固定負債	540	0	0	0	0
流動負債	232,199	279,137	261,559	281,612	295,950
負債の部合計	232,739	279,137	261,559	281,612	295,950
基本金	3,038,872	4,103,893	4,137,161	4,200,544	4,193,694
繰越収支差額	7,306,998	6,705,928	6,910,487	7,119,142	7,368,894
純資産の部合計	10,345,871	10,809,821	11,047,649	11,319,687	11,562,589
負債の部、純資産の部合計	10,578,610	11,088,959	11,309,209	11,601,300	11,858,540

※千円未満切り捨てにつき、合計額が合わない場合がある。

(2) 資金収支計算書

(単位：千円)

収入の部	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
学生生徒等納付金収入	551,785	554,195	535,295	610,247	691,179
手数料収入	5,572	5,907	7,367	7,741	9,674
寄附金収入	100	0	0	0	0
補助金収入	47,124	58,370	52,956	60,573	75,515
資産売却収入	0	100,700	0	97	200,184
付随事業・収益事業収入	185,222	183,754	154,154	165,440	117,922
受取利息・配当金収入	56,180	59,564	73,242	69,389	75,823
雑収入	32,587	133,399	43,327	62,560	34,796
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	124,084	117,970	138,257	149,373	159,773
その他の収入	339,147	1,981,902	1,023,306	36,419	620,246
資金収入調整勘定	△164,215	△279,519	△150,571	△201,666	△182,843
前年度繰越支払資金	479,055	543,447	343,867	1,531,228	669,247
収入の部合計	1,656,644	3,459,689	2,221,202	2,491,404	2,471,520

支出の部	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
人件費支出	277,651	319,523	315,065	362,570	342,982
教育研究経費支出	117,500	130,391	128,493	146,957	186,616
管理経費支出	57,149	66,938	59,508	70,110	79,248
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	266,437	997,334	1,056	53,984	12,422
設備関係支出	27,278	30,334	34,129	35,841	17,139
資産運用支出	353,278	1,616,776	99,729	1,155,921	1,046,086
その他の支出	26,878	34,182	79,330	46,035	58,665
資金支出調整勘定	△12,978	△79,650	△27,339	△49,265	△17,327
翌年度繰越支払資金	543,447	343,867	1,531,228	669,247	745,686
支出の部合計	1,656,644	3,459,697	2,221,202	2,491,404	2,471,520

※千円未満切り捨てにつき、合計額が合わない場合がある。

(3) 事業活動収支計算書

(単位：千円)

		科 目	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	551,785	554,195	535,295	610,247	691,179
		手数料	5,572	5,907	7,367	7,741	9,674
		寄付金	100	0	585	940	50
		經常費等補助金	44,002	54,620	46,335	50,071	72,753
		付随事業収入	15,222	13,754	14,154	15,440	17,922
		雑収入	32,587	133,939	43,327	62,560	34,796
		教育活動収入計	649,269	762,417	647,065	747,001	826,376
	事業活動支出の部	科 目					
		人件費	277,651	319,523	315,065	362,570	352,265
		教育研究経費	170,243	184,822	253,567	270,155	312,475
		管理経費	61,550	71,503	64,801	75,409	84,238
		徴収不能額	0	124	471	0	492
		教育活動支出計	509,445	575,973	633,907	708,135	749,471
	教育活動収支差額		139,824	186,444	13,157	38,865	76,904
教育活動外収支	収入	科 目					
		受取利息・配当金	56,180	59,564	73,242	66,276	88,097
		その他の教育活動外収入	170,000	170,000	140,000	150,000	100,000
		教育活動外収入計	226,180	229,564	213,242	216,276	188,097
	支出	科 目					
		借入金等利息	0	0	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0	0	0
	教育活動外収支差額		226,180	229,564	213,242	216,276	188,097
	經常収支差額		366,005	416,008	226,400	255,142	265,002
特別収支	収入	科 目					
		資産売却差額	0	6,086	9,825	97	184
		その他の特別収入	5,061	41,855	14,812	20,986	10,029
	特別収入計		5,061	47,942	24,638	21,084	10,213
	支出	科 目					
		資産処分差額	0	0	13,211	4,188	257
		その他の特別支出	0	0	0	0	32,057
特別支出計		0	0	13,211	4,188	32,314	
特別収支差額		5,061	47,942	11,427	16,896	22,100	
基本金組入前当年度収支差額		261,007	463,950	237,827	272,038	242,901	
基本金組入額合計		△3,433	△1,065,020	△40,177	△63,383	△16,105	
当年度収支差額		257,574	△601,070	197,649	208,655	226,796	
前年度繰越収支差額		6,676,720	7,306,998	6,705,928	6,910,487	7,119,142	
基本金取崩額		0	0	6,909	0	22,955	
翌年度繰越収支差額		6,934,295	6,705,928	6,910,487	7,119,142	7,368,894	

※千円未満切り捨てにつき、合計額が合わない場合がある。

収益事業の概要

1. 事業の概要

(1) 令和7年度入校生・卒業生数等

【入校生数】

(単位：人)

学校別		静岡校	浜松校	沼津校	松崎校	計
普通	M T	9	338	53	0	400
	A T	2,521	1,279	1,082	417	5,299
	二種	272	207	61	58	598
大型	一種	178	0	238	0	416
	二種	15	0	61	0	76
中型	一種	116	54	79	0	249
	二種	0	0	0	0	0
準中型		55	43	64	0	162
大型特殊		18	18	41	0	77
けん引		56	0	50	0	106
自動二輪 ()内は AT限定の内数	大型	161 (0)	124 (0)	108 (0)	9 (0)	402 (0)
	普通	295 (0)	217 (3)	141 (3)	21 (0)	674 (6)
	普通限定	27 (15)	29 (16)	31 (22)	4 (1)	91 (54)
審査	普通	592	119	74	20	805
	中型	22	26	19	0	67
	準中型	12	4	21	0	37
	二輪限定	8	9	10	2	29
	その他	2	0	13	0	15
()内は 合宿入校の内数	計	4,359 (473)	2,467 (345)	2,146 (392)	531 (379)	9,503 (1,589)
	前年度計	3,782 (512)	2,292 (353)	2,149 (372)	554 (427)	8,777 (1,664)
	前年度比	+577 (39)	+175 (8)	3 (+20)	23 (48)	+726 (75)

【卒業生数】

(単位：人)

学校別		静岡校	浜松校	沼津校	松崎校	計
普通	M T	100	331	105	1	537
	A T	2,305	1,208	980	436	4,929
	二種	270	215	62	58	605
大型	一種	172	0	234	0	406
	二種	15	0	62	0	77
中型	一種	121	52	78	0	251
	二種	0	0	0	0	0
準中型		44	33	56	0	133
大型特殊		19	17	42	0	78
けん引		60	0	47	0	107
自動二輪 ()内は AT限定の内数	大型	151 (0)	115 (0)	110 (0)	9 (0)	385 (0)
	普通	281 (0)	202 (3)	149 (2)	22 (0)	654 (5)
	普通限定	24 (17)	26 (16)	24 (16)	4 (1)	78 (50)
審査	普通	434	98	66	19	617
	中型	22	26	23	0	71
	準中型	12	4	16	0	32
	二輪限定	7	7	10	2	26
	その他	1	0	12	0	13
()内は 合宿入校の内数	計	4,038 (455)	2,334 (348)	2,076 (395)	551 (403)	8,999 (1,601)
	前年度計	3,747 (513)	2,287 (361)	2,066 (374)	547 (419)	8,647 (1,667)
	前年度比	+291 (58)	+47 (13)	+10 (+21)	+4 (16)	+352 (66)

【高齢者講習受講者数】

(単位：人)

学校別	静岡校	浜松校	沼津校	松崎校	計
令和7年度受講者数	6,778	3,348	2,628	1,362	14,116
前年度受講者数	7,268	4,071	2,379	1,341	15,059
前年度比増減	△490	△723	+249	+21	△943

【認知機能検査受検者数】

(単位：人)

学校別	静岡校	浜松校	沼津校	松崎校	計
令和7年度受検者数	5,100	2,448	1,888	1,106	10,542
前年度受検者数	4,907	2,623	1,664	948	10,142
前年度比増減	+193	△175	+224	+158	+400

【取消処分者講習受講者数】

(単位：人)

学校別	静岡校	浜松校	沼津校	計
令和7年度受講者数	122	165	152	439
前年度受講者数	119	201	194	514
前年度比増減	+3	△36	△42	△75

【初心運転者講習受講者数】

(単位：人)

学校別	静岡校	浜松校	沼津校	松崎校	計
令和7年度受講者数	40	22	36	0	98
前年度受講者数	46	24	54	0	124
前年度比増減	△6	△2	△18	±0	△26

【取得時講習受講者数】

(単位：人)

学校別 車種	静岡校	浜松校	沼津校	松崎校	計
大型車講習	2	0	1	0	3
中型車講習	3	0	2	0	5
準中型車講習	2	0	2	0	4
普通車講習	8	1	17	0	26
大型二輪車講習	1	0	1	0	2
普通二輪車講習	7	0	6	0	13
大型旅客車講習	1	0	1	0	2
中型旅客車講習	0	0	0	0	0
普通旅客車講習	8	0	9	0	17
応急救護処置講習(一種)	12	1	18	0	31
応急救護処置講習(二種)	8	0	10	0	18
計	52	2	67	0	121
前年度受講者数	80	24	82	0	186
前年度比増減	△28	△22	△15	±0	△65

(2) 入校生数等の推移 (4校合計)

(単位:人)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
入校生数	9,091	9,216	9,055	8,777	9,503
卒業生数	8,957	8,929	8,875	8,647	8,999
高齢者講習	13,805	13,851	13,649	15,059	14,116
認知機能検査	7,171	9,409	10,381	10,142	10,542
取消処分者講習	566	586	495	514	439
初心運転者講習	128	115	102	124	98
取得時講習	188	177	154	162	120

(3) 事業計画に係る設備投資等の状況

令和7年度の設備投資等の額は、収益事業部門では271,713千円であり、主として静岡校の教習車購入事業であります。

【収益事業】

(金額単位:円)

No.	事業名	品名	数量	金額	取得日
静岡校1	教習車購入事業	カラーラクシオハイブリッド(普通車AT)	50	96,375,000	5/21-6/4
静岡校2	建物関係整備事業	非常放送設備更新	一式	3,135,000	5/3
		二輪棟前排水設備設置	一式	4,950,000	5/7
		二輪棟/交通教育センターLED化工事	一式	6,365,431	5/19
		計		14,450,431	
静岡校3	什器備品等整備事業	業務用PC	35	4,414,821	5/29
		ネットワーク機器更新	一式	3,225,200	10/20,12/15
		電話交換機差替え	一式	2,170,903	9/4
		合格発表用電光掲示板差替え	一式	731,500	5/1
		計		10,542,424	
静岡校6	プログラムチャイムユニットの交換	プログラムミュージックレコーダー	一式	726,000	4/26
静岡校7	普通AT二輪車の差替え	普通AT二輪教習車	2	2,641,640	6/27
静岡校8	印刷機の差替え	輪転機	一式	990,000	7/17
静岡校9	高齢者講習用軽自動車購入	軽自動車	2	3,280,000	4/25
静岡校10	施設等整備事業	1階職員室空調機修繕工事	一式	666,600	12/25
		看板改修工事	一式	250,800	1/29
		計		917,400	
静岡校11	二輪急制動カメラ差替え	二輪急制動カメラ	1	368,500	10/28
静岡校合計				130,291,395	
浜松校1	校舎整備事業	本館・コース棟外部補修工事	一式	54,340,000	12/15
		館内壁紙張替え工事	一式	11,660,000	12/15
		計		66,000,000	
浜松校2	車両購入事業	送迎車兼連絡車	1	2,966,300	5/23

No.	事業名	品名	数量	金額	取得日
浜松校 3	什器備品等整備事業	業務用PC	24	3,192,269	5/29
		ネットワーク機器更新	一式	2,838,000	11/30
		計		6,030,269	
浜松校 4	什器備品等整備事業②	深視力計	1	426,800	1/13
浜松校合計				75,423,369	
沼津校 1	建物関係整備事業	浄化槽修繕工事	一式	1,705,000	5/30
沼津校 2	車両購入事業	送迎車兼連絡車（ミニバン）	1	3,974,000	7/31
沼津校 3	什器備品等整備事業	業務用PC	25	3,206,456	5/29
		ネットワーク機器更新	一式	2,290,200	11/30
		計		5,496,656	
沼津校合計				11,175,656	
松崎校 2	什器備品等整備事業	業務用PC	9	1,231,168	5/29
		ネットワーク機器更新	一式	1,980,000	11/30
		計		3,211,168	
松崎校 3	男子トイレ改修工事	男子トイレ改修工事	一式	397,100	6/17
松崎校合計				3,608,268	
教習事業部 1	建物関係整備事業	交通教育センター3階改修	一式	1,853,500	6/6,6/12
		交通教育センターLED化工事	一式	424,705	5/19
		計		2,278,205	
教習事業部 2	什器備品等整備事業	業務用PC	8	1,467,444	5/29
		ネットワーク機器更新	一式	308,000	12/15
		電話交換機差替え	一式	348,895	9/4
		複合機差替え	一式	717,750	5/13
		計		2,842,089	
教習事業部 5	電話設備工事	電話回線設備工事	一式	467,500	4/14,9/18
教習事業部 6	入校受付業務オンライン化	開発費用	一式	19,278,600	5/29
教習事業部 7	ECサイト・オンライン入校受付システム改修	開発費用	一式	3,091,000	10/31,3/31
教習事業部 8	什器備品等整備事業②	MEDEMIL Drive	3	6,963,000	1/22-1/30
教習事業部合計				34,920,394	
総務室 1	什器備品等整備事業	業務用PC	一式	656,282	5/29
		ネットワーク機器更新	一式	1,232,000	10/20
		電話交換機差替え	一式	581,492	9/3-9/4
		計		2,469,774	
総務室 2	車両購入事業	役員送迎車	1	4,931,710	3/26
総務室 3	85周年記念行事事業	行事費用一式	一式	8,130,000	12/1
総務室 4	会議室ブラインド交換	パーチカルブラインド	一式	483,120	7/30
総務室 5	WiFiアクセスポイント	アクセスポイント設置工事	一式	279,400	10/20
総務室合計				16,294,004	
収益合計				271,713,086	

(4) 事業所別設備の状況

令和8年3月31日現在における各事業所の設備、投下資本は次のとおりであります。

【収益事業】

事業所名	土地		建物		構築物 (円)	機械装置 (円)	什器備品 (円)	車両 (円)	投下資本合計 (円)
	面積(㎡)	金額(円)	面積(㎡)	金額(円)					
静岡校	18,362.50 (373.67)	174,546,872	2,802.99	275,384,594	30,458,305	2,323,445	7,330,029	37,991,203	528,034,448
浜松校	13,728.69 (458.13)	75,388,009	1901.28	190,656,025	15,751,414	6	1,067,335	2,200,222	285,063,011
沼津校	13,264.06 (7,767.00)	810,260,269	2557.93	120,447,493	18,765,745	434,706	628,664	7,387,845	957,924,722
松崎校	2,136.76 (9,338.73)	35,443,050	933.52	25,363,661	4,193,727	1,219,803	1,423,168	38	67,643,447
総務室 教習事業部	0	0	916.84	33,060,712	121,465	0	7,562,776	4,279,071	45,024,024
計	47,492.01 (17,937.53)	1,095,638,200	9112.56	644,912,485	69,290,656	3,977,960	18,011,972	51,858,379	1,883,689,652

(注) 1 投下資本は有形固定資産の帳簿価格であります。

2 土地の面積欄中 () 書は貸借中のものであり、内数ではありません。

2. 財務の概要（過去5年間の状況）

（1）貸借対照表

（単位：千円）

	3年度末	4年度末	5年度末	6年度末	7年度末
流動資産	3,208,605	3,396,920	3,415,476	3,400,425	3,377,675
固定資産	1,707,294	1,721,361	1,818,306	1,896,744	1,931,506
繰延資産	0	0	0	0	0
資産の部合計	4,915,900	5,118,281	5,233,782	5,297,169	5,309,182
流動負債	342,800	427,971	428,773	389,975	348,352
固定負債	0	0	0	0	0
負債の部合計	342,800	427,971	428,773	389,975	348,352
純資産の部合計	4,573,100	4,690,310	4,805,009	4,907,193	4,960,829
負債・純資産合計	4,915,900	5,118,281	5,233,782	5,297,169	5,309,182

※千円未満切り捨てにつき、合計額が合わない場合がある。

（2）損益計算書

（単位：千円）

	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
営業収益	2,176,019	2,224,486	2,281,494	2,289,726	2,274,876
営業費用	1,880,368	1,891,603	1,989,996	2,007,645	2,086,342
営業利益	295,650	332,882	291,497	282,080	188,533
営業外損益	20,114	20,414	19,561	16,695	17,503
経常利益	315,764	353,296	311,059	298,776	206,037
特別損益	573	△13,491	△10,902	830	△28,651
寄附繰出前当年度利益	316,338	339,804	300,157	299,606	177,386
寄附繰出額	170,000	170,000	140,000	150,000	100,000
法人税等充当額	47,372	52,595	45,457	47,132	23,749
当年度利益	98,966	117,209	114,699	102,474	53,636

※千円未満切り捨てにつき、合計額が合わない場合がある。